

発刊にあたって

コロナ禍の下で3度目の夏を迎えようとしています。

この1年間を振り返りますと、昨年は東京オリンピック・パラリンピック大会が一年遅れで開催され、無観客の中ではありましたが、日本選手の大活躍に心を熱くしました。

一方で、コロナ禍に伴う世界的な生産、物流の混乱が続いていることに加え、本年2月に発生したウクライナ紛争により、エネルギー、資源価格等が高騰しています。今後予想される物価上昇が、持ち直しつつある個人消費にどのような影響をもたらすか、注視していく必要があるものと考えています。

さて「徳島県の経済と産業(2022年版)」は、地域の自然環境や社会環境、経済・産業の構造や特色、県民の暮らしなども含めて、最新のデータを織り込み、近年の徳島県の実情と変化を取りまとめたものです。徳島県の現状や特徴・特色を概観し、今後の地域や企業経営を展望するうえで参考書として、活用していただければ幸いです。

なお、今回の表紙は、2021年12月から世界初の本格営業運行を開始した徳島県海陽町の阿佐海岸鉄道株式会社のDMV(道路鉄道併用車両)をイメージしてデザインしました。DMVが「新しい人の流れ」を生み出し、地方創生につながっていくことを期待したいと思います。

最後に、この冊子の作成にあたり、協力を賜りました関係機関の皆様に、心から厚くお礼申し上げます。

2022年 夏

公益財団法人 徳島経済研究所

理事長 長岡 奨